学年別 教科学習法　さあ！勝負の夏!!

「夏を制する者は受験を制す」とか「夏は受験の天王山」などと言うのを一度は聞いたことがあるはず。そのくらい「夏休み」をいかに過ごすかが受験において重要であるということです。三年生は差し迫った受験に対応するにはどう過ごしたらよいか、一・二年生は夏休み明けの授業内容がよりスムーズに頭に入るようにするにはどう過ごしたらよいのか…。各教科の先生方からの、夏休みの学習方法についてアドバイスを参考にして、充実した夏休みを送ってください。

一・二年生

国語　渡辺麻笑子先生より

夏休みに行ってほしい国語の学習のポイントは三つです。

①古典の文法事項の復習

一年生は用言と助動詞の他に漢文訓読、二年生は助動詞・敬語に加えて漢文句法等、授業で習得した内容を再度復習して下さい。『体系古典文法』（一年生）や『明説漢文』にある問題を何度もやってみましょう。ここでの基礎固めが点数UPに大きく繋がります。

②語彙力のUP

国語において、大事なのが「語彙力」です。言葉の意味を知らないだけで、その文章の内容が全く理解できなくなることもあります。課題のテキストで、分からない語があった時は、積極的に辞書を引いてノートに書いておきましょう。また、古文単語のテキストや現代文単語集を読むのもオススメです。

③国語に関する知識を増やす

古典を読む際には、時代背景や生活習慣など「古典常識」を知っている必要があります。マンガや現代語訳された小説など手軽に読める本が多く出ているので読んでみましょう。

★おすすめマンガ…『あさきゆめみし』（源氏物語）、『天上の虹』（万葉集）、『三国志』『史記』など

★おすすめ小説…『ばなとゆめ』（枕草子）、『六条御息所　源氏がたり』（源氏物語）など

さらに、新聞や新書を読み、現代社会の問題点や話題を知っておくことも、現代文の読みの深まりや小論文対策に繋がります。また、大学入学共通テストには、実用的な文章を扱う問題が出題されます。普段から新聞を読み慣れておきましょう。

以上のことを踏まえ、夏休みの課題テキストに丁寧に取り組みましょう。ただ答えを写すのは、勉強ではなくただの作業。無駄な時間を過ごしたことになります。皆さんの頑張りに期待しています！

数学　鈴木理恵先生より

夏休み中に出される課題は主にこれまで学習した内容の復習です。この時期に取り組んで欲しいことは、既習事項、基礎基本の定着です。

ここで、これまでの数学の取り組みを振り返ってみてください。教科書の問や問題集を自分の力で取り組めたでしょうか。友達の解答を写しただけなのにやったつもりになっていたり、板書を写して満足していたりしませんでしたか？

課題に取り組むにあたって、次のことを心がけてみてください。

①まず、自力で解ける問題に取り組みましょう。できない問題にたくさん時間を掛けるのはもったいないです。間違えてもいいので、教科書などを参考に自分なりに考えて解きましょう。

②次に、わからなかったところは（あれば）模範解答を見て構いません。この時答えを写すだけでは、ただの作業になり無意味です。わからなかったところをチェックし、「なぜそうなるのか？」を考えましょう。式の立て方、定理や公式の使い方など、疑問に思うところをそのままにしないようにしてください。教科書や参考書でもう一度確認し、それでも解決しなければ先生方に質問してください。

③さらに、繰り返し問題を見直せるように計画的に取り組みましょう。一度取り組んだだけでは理解できない、定着しない場合がほとんどです。できなかったところに注意しながら復習し、「わかる」問題を増やしていきましょう。できる人はさらに別解も考えてみてください。

余力がある人は、今後の予習や参考書の問題に挑戦してみてください。参考書には教科書には載っていない例題も多数紹介されています。

一、二年生が受験する大学入試では、「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」など総合的な「知識・技能を活用する力」が求められます。ここまで挙げたことは受験のためにも必要な過程だと思います。

夏休みはこれまでの復習に時間を掛けられる貴重な期間です。有意義に過ごしてください。

英語　佐藤杏美先生より

夏季休業中に皆さんに行ってほしい内容は以下の内容です。

①文法事項の定着

五文型や英語表現で学習した文法事項は完璧に理解できていますか？ただ問題が解けるだけではなく、文法書をよく読んで理解した上で問題演習に取り組んでください。問題演習は教科書、ワーク、確認問題集、暗唱例文集を最大限に活用しましょう。皆さんは学校の教材で十分な演習量の問題集を持っています。一冊を完璧に。不明な点は積極的に質問すること。

②語彙力の強化

単語帳・教科書を活用して、発音やアクセントに注意しながら学習してください。

③良質な英文に触れる

今まで学習した教科書の英文や受けた模試の英文を復習してください。訳が難しい英文や理解が不十分な英文、模試で分からなかった問題を中心に復習してみましょう。

余力がある生徒は英語の物語や、英字新聞に挑戦してみるのもおすすめです。

④諦めずに反復学習をする。

語学の学習はすぐに身につくものではありません。何度も同じ問題や類題に取り組んで定着させましょう。忘れても辞書や文法書で自主的に調べて、根気強く取り組んでください。わからないことはためずにすぐに質問して、夏季休業中に既習事項の定着を図りましょう。

理科　石井伸弥先生より

一・二年生ではしっかりと基礎力を身につけてください。その際に、独力で受験勉強を進められるように、文章をしっかりと読む勉強を意識してほしいと思います。定期考査の点数別に学習法をご紹介します。

①定期考査五十点未満の人。

確実に基礎基本の定着を図ります。ワークには必ず基礎のページがありますから、まずは泥臭く手を動かして、暗記に勤しんでください。ただ読む、という勉強は終わりにしましょう。

②定期考査五十点～七十五点の人。

演習に取り組んで基礎力を確たるものにしましょう。演習に取り組む際は、すぐ模範解答に目を通してOKです。ただし、ただ読んでも意味はありません。わからない語句や意味のとれない部分にチェックを入れて教科書等で調べ、空いているスペースにメモを書き入れましょう。模範解答に書き込みをし、自分だけの参考書を作ってください。

間違えた問題や、当たったけれど怪しい問題に対してそれぞれ印をつけてください。そうすると、何周かした際、一目で自分の苦手な問題がわかります。最終的に、印が多い問題だけを復習すれば、一時間もの間に高校全範囲の復習を終えることができます。今からこつこつやっておけば、「受験前瞬間総復習」が可能になります。是非。

③定期考査七十五点～百点の人。

考査に向けての学習をよく頑張りました。この時点で受験に向けた学習はかなり進めやすくなっています。基本的には②と同じ流れです。ただし、模範解答を見る前に十分は粘ってください。そして、間違ってもいいので自分なりの答えを書きましょう。

できる分野でいいので、傍用問題集を今のうちに三周してください。今もらっている問題集をしっかりとやりこむことで、多くの大学では合格圏内まで引き上げることができますし、模試の点数も良くなり、精神的にも楽になります。その上で、添削等にてハイレベル問題に取り組むことをおすすめします。

地理・歴史　菅野剛先生より

地歴・公民の試験は用語を丸暗記すれば乗り切れると考えている生徒がいます。そのような幻想を早めに捨てて下さい。一つ一つの用語の意味をおさえ、それぞれの用語がどのような関連にあるのか丁寧に押さえていく作業が必要です。気が遠くなるような地道な作業を積み重ねていくなかで、「社会」の仕組みに対する自分なりの発見が出来てくるようになります。その発見を自分の言葉で表現できるようになってこそ地歴・公民の学力がついたといえる状態ではないかと私は考えています。このような状態にもっていくには、国数英で培った基礎学力が欠かせません。だから、一・二年生の長期休業中は国数英の学習を中心に進めて欲しいと思います。

しかし、国数英の学力がある程度ついてから、地歴・公民に着手するという考え方では三年生になってから手遅れになってしまいます。そうならないように夏休みからやって欲しいこと二つあります。

一、言葉をたくさんストックする。

地歴・公民の教科書を読み解くためには、ニュースや新聞で出てくる言葉をたくさん知らなければなりません。小論文を書く際にも必要になってきます。分からない言葉が出てきたら必ず辞書やネットで意味を調べて下さい。

二、自分が地域・国家・世界とどう向き合うか考えてみる。

新聞やニュースで報じられた問題について、自分はどう考えるか、少しでも考えてみて下さい。それが難しい人は、ニュースや新聞で取り上げられたトピックを進路手帳に簡潔に記しておくのもいいでしょう。あとで自己を客観的に振り返る材料となるはずです。

以上の二つのことを実践することによって、徐々に教科書が想像的に読めるようになってくると思います。教科書を読み込める土台をこの夏休みに確立して下さい。

三年生

国語　遠藤和一先生より

受験の夏！とうとうこの時期が来てしまいました。学習の進度はいかがでしょうか？時間は皆さんを待ってはくれません。準備ができていようが、いまいが「そのとき」は必ず来ます。しっかりと備えましょう。

国語の学習の習熟度は各人で異なると思います。習熟度別にこの夏に何をすべきかを確認していきます。

○得意な人

問題演習を繰り返しましょう。間違った問題には、あなたの知識の穴が必ず現れます。しっかり復習して知識の補完をしていきましょう。

また、問題演習をするときには、ただ何となく解くのではなく、自分の作った、もしくは選んだ解答についての理由付けをしてみましょう。自分で自分の解答を説明できるように問題を解くということです。この方法を身につけることにより、解答の精度が飛躍的に向上します。もうワンランク上を狙うのならば必須です。ただし、この方法は慣れないとかなり時間がかかります。反復することでしか、スピードは上がらず、実戦では使えません。夏以後を見越して、是非この方法に取り組んでください。

○不得意な人

「勉強に王道無し」

まずは基本事項の確認です。古文の文法事項・漢文の句法・現代文の漢字や語句、頻出テーマ等、時間を使って確認できる時期は今しかありません。それと平行して問題演習に取り組みましょう。知識は使うことでしか習得できません。古文を例にとると、古文の助動詞を覚えながら、それを使って本文読解をする学習法です。助動詞の表を覚えるだけの勉強よりもだいぶ効果は見込めます。ただし、その成果は、勉強した二～三日後にできるようになるというほど甘いものではありません。二～三ヶ月後を見越してしっかりと学習に取り組んでください。鍵は根気強さ。粘り強く頑張っていきましょう！

この夏は、基本事項を振り返ることのできる最後の機会です。そのことを肝に銘じ、夏以降の成績アップを信じて、着実に、粛々と努力しましょう！

「継続は力なり」

数学　梅澤和樹先生より

この夏季休業中にすべきことは二つの準備と二つの実行です。

一つ目の準備は、目標との距離を客観的に測ること。最新の模試を参考に、「これができればB判定だった」問題をピックアップしてください。そうすれば、何ができて何ができないのか、今自分のいる場所を把握し、自分に合った計画を立てることができます。

二つ目の準備は、すべきことの全体像を把握すること。各教科書の単元とそこで学んだ重要事項を書き出してください。なるべく思い出しながら書き出しましょう。教科の全体を俯瞰するクセをつけることで頭の中が整理されます。そして、前にやったこと、今やっていること、次に取り組むことの道筋が見えてきます。

以上の準備がなされれば、あとは実行です。それは基礎基本の徹底に他なりません。土台にヌケやモレがなくなるよう努めます。とはいえ、焦って教科書を最初からやり直したり、闇雲に問題を解いたりすることは禁物です。ゼロからのスタートではないはず。わかっていることは確認程度にとどめ、そうでないことは繰り返し取り組むなど、軽重をつけることが考えられます。また、前述の準備がなされていれば、強化すべきことが把握できているので、計画性をもって学習できるはずです。

覚悟せよ。基礎力の完成は今季が最後。でも焦らずひるまず根気よく。ここが正念場なのです。

英語　竹中　睦先生より

三年生が夏にするべきこと

・文法問題の徹底復習

POWER STAGEを使って、苦手分野を徹底的に復習しておきましょう。わからない問題は、解説をしっかり読む&Be参考書や授業のノートまで戻りましょう。納得のいくまで調べることが文法力の向上につながります。

・長文問題の演習

一日一題は取り組みましょう。解くときには時間を計って、ダラダラ解くことのないように。常に時間を意識し、wpmを意識しましょう。解いて丸つけして終わりは絶対ダメ！どうしてこの答えが正しいのかを徹底的に考えること。しっかり解説を読むこと。また長文問題で出てきた単語・熟語は押さえておくこと。ノートを半分に線を入れ、日本語と英語で分けてまとめておくと、後から半分に折れば自分専用の単語練習帳になります。先生はそうやって何度も書き、読み、単語を覚えていきました。

・リスニング

とにかく毎日英語を聞くこと。英語が聞き取れるかどうかは耳の訓練が大きく影響します。リスニング教材のCDを活用してのディクテーション、シャドーイング等が効果があります。十九時・二十一時のNHKニュースは二か国語放送ですので、毎日英語で見るといいですよ。映像で内容がわかるので、英語とともに時事問題を学ぶこともできます。

・課外への積極的参加

復習が大切です。参加するだけで満足するということのないように。

・模試の問題の解き直し

今まで受けた模試は、自分の苦手を把握する最良の問題集です。うまく活用して、弱点を克服しましょう！

最後に…

センター試験まで、残り百八十日あまり。毎日を大切にし、昨日の自分よりも知識がついた自分に毎日なっていこう。不安なのは、眠いのは、辛いのは、みんな同じ。自分に勝って、受験を制しましょう。

理科　根本遥加先生より

「現役生は入試直前まで伸びる」…というのは耳にしたことはあると思います。実際にこれはよくある話で、秋から入試直前にかけて急激に伸び始め、そのままの勢いで合格してしまう。これはどのような勉強をした人でしょうか？それは、夏までに「基本的内容」をしっかりと「理解する」勉強をした人になります。夏に理科の基礎を固めてしまえば、応用問題にも移りやすいのです。具体的には、①学校で使っているテキスト、ドリルの基本問題の演習（基本事項の定着、各分野の典型パターンを知る）②今までの模擬試験の復習（新しい問題集に手を出すよりも、できなかった問題を完璧にするほうが価値がある）を意識して学習を進めてください。その際、できなかった問題の内容は、教科書で確認をすること。教科書を読むことで、今までぐちゃぐちゃに頭の中で散らかっていた知識を整理し、よくわかるようになります。

この夏、三年理科が最も伸びる可能性があります。模試の点数に一喜一憂せず、入試本番で点を取るための土台、必要な知識を身につけていきましょう。

地理歴史・公民　喜多見晃子先生より

やっと出番がきました。みなさん、一、二年生で国数英をしっかりやった（？）と思いますので、ここから理社に力を入れていきましょう。部活をやっていた人は部活動の時間をそのまま理社に当てるといいかなあと思いますが、それぞれのペースで理社をやりましょう。夏休みまでにそれまでの学習内容をまとめる作業を行いましょう。各模試の振り返りはできていますか。そして、ここからが大切です。インプット作業（教科書を読む、まとめる、講義を受ける…）をしたら、必ずアウトプット作業（内容を説明する、問題演習をする…）を行いましょう。この割合ですがインプット三割、アウトプット七割がよいといわれています。多分、皆さんは逆ですよね。たくさん勉強をしているのに、点数がとれないという人は試してみてください。社会の勉強には時間がかかります。やればやるほど疑問が湧いてきます。なかなか進まないうえに、結果が出なくて焦ります。暗記すればいいや！と投げやりになるかもしれません。でも、自分を信じてやりこんでください。疑問をそのままにしないでください。是非苦しんでください。苦しんだ先に見えるものがあります。ある日突然、ぱっと視界が開く瞬間がくる…かもしれません。

あなたたちの記憶に残るくらいの苦しい夏を一緒にすごしましょう。

夏季休業中の予定

			行　事	１学年	２学年	３学年
7	19	金	全校集会			
	20	土				
	21	日				
	22	月		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	23	火		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	24	水		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	25	木	中学生体験入学			
	26	金		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	27	土	茨城大学OC（水戸キャンパス）			
	28	日				
	29	月		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	30	火		夏季課外	夏季課外	夏季課外
	31	水		夏季課外	夏季課外	夏季課外
8	1	木		夏季合同学習会		夏季課外
	2	金		夏季合同学習会		夏季課外
	3	土				東北大オープン
	4	日				
	5	月		全統記述		夏季合同学習会
	6	火				夏季合同学習会
	7	水				夏季合同学習会
	8	木				夏季合同学習会
	9	金				全統マーク（医療創生大）
	10	土				全統マーク（医療創生大）
	11	日	福島大学OC（全学類共通）			
	12	月	振替休日			
	13	火				
	14	水	学校閉庁日			
	15	木	学校閉庁日			
	16	金	学校閉庁日			
	17	土				
	18	日				
	19	月				夏季課外
	20	火				夏季課外
	21	水				
	22	木	全校集会	学力テスト		

※赤本部屋は、夏休み中も基本的に月～金は使用できます。(8:30 ～ 17:00)